

優良賞

厚沢部町立厚沢部中学校 3 学年 ^{やまだ}山田 ^{ゆら}由空
原爆について



「原爆」かつてその一発の爆弾が長崎の地に落ちました。犠牲となった命は、7万4千人に及んだそうです。

なぜこのような悲劇がおこってしまったのでしょうか？

私たちはこの事実を知って、どのように行動したらよいのでしょうか？

僕は今年4月、修学旅行で九州を訪れました。その中で長崎県の「原爆資料館」を見学しました。そこで僕は信じられないほどに悲惨な当時の状況を物語る、数々の写真や遺物を目にしました。まず、初めに目に入ってきたものは、「1945年・8月9日午前11時2分」その時から時を刻むことをやめた古い木の掛け時計でした。僕の頭の中には、元気よく遊んでいる子ども達、お昼ご飯の準備をしているお母さん、一生懸命に仕事をしているお父さん、彼らが一瞬で消し飛ぶ光景がありありと浮かびました。そこから僕はさらに資料館の奥に吸い込まれるように足を運びました。その後は、アメリカ軍が上空から原爆を長崎に投下した直後の動画を見ました。他には、原爆の爆風で半分が消し飛び、半分だけが残った神社の鳥居。高熱によって溶けて滑らかになった面と反対にはザラザラの面の残った壁。家の壁に焼きついた子どもの姿。溶けたビンにくっついた人の骨。自分の目を疑うような様々な展示品がありました。それらを目にしたこと、原爆の悲惨さや、恐ろしさ、言葉に表せないような感情が湧きあがってきました。

そして、資料館で最後に見た一枚の写真。僕はその写真を見た瞬間、涙が溢れ出そうになりました。そこには、死んだ弟を背負う少年の姿がありました。弟の火葬を待つその少年は小学校低学年くらいの背丈しかありませんでした。もし、自分がその少年だったならばと考えると、怒りのような、悲しみのような、言葉で言い表せないような感情になりました。

なぜ、原爆が長崎に落とされたのでしょうか。当時、米軍の指揮をしたトルーマン大統領は、戦争を早期に終わらせ、戦争による犠牲者を、これ以上出さないためだと語ったそうです。

その結果、長崎の7万4千もの人命が失われました。

果たして、この理由は本当に正当なものだったのでしょうか。僕は怒りを覚えました。

しかし、根本的な理由は、「戦争」それ自体にあります。

世界から戦争が無くならない限り、また同じ過ちが起きる可能性があります。このような事は二度と起こしてはいけない、繰り返してはいけないのです。

人は問題を話し合いで解決することができる。僕はそう考えています。世界から戦争がなくなり、話し合いで問題を解決できる世界になってほしい。戦争を恐れることがなくなり、笑顔であふれる世の中になってほしい。そう願っています。

この願いの実現のために私たちができることは何でしょうか？

僕は日頃から、相手のことを悪く言わないように気をつけています。暴言、暴力をふるわない、感謝の気持ちを言葉で伝える、こんな小さなことでも、私たち皆が意識することができれば、世界を変えていけると思っているからです。

ささいなことかもしれませんが、私たち一人一人の心がけが、平和を実現するための一歩だと思っています。

世界を変えるための一歩を共に踏み出しましょう。